

## 4 言語活動を充実させよう

★言語活動には、大きく分けて二つの種類があります。ただ話し合い活動を行えばよいというのではなく、身に付けさせたい力を明確にして、意図的・計画的に取り入れましょう。

ここでは、文部科学省の「言語活動の充実に関する指導事例集」より四つの例を取り上げます。

### (1) 知的活動（論理や思考）に関すること

#### ア 事実等を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝えること

##### ◆【理科】

地学基礎：「プレートの運動（活動する地球）」

教科書等の資料で、自らのテーマについて調べ、発表する言語活動を取り入れます。

教わるだけでなく、生徒が主体的に文章を読解し、自分の頭で考えながら学習を進める習慣を身に付けることで、生徒の探究に対する意欲が高まります。調べた内容は、B4判1枚という限られた紙面に内容を凝集してまとめることで、情報を的確に収集し、論理的にまとめることができるようになります。最後にプレゼンテーションのコツ（姿勢・目線・声・身振り等）を指導して、発表会を行った後、全員の作品を廊下に掲示し、互いに批評し合えるようにします。

この活動を通して、「思考・判断・表現」の能力を育成し、「知識・理解」の習得を図ります。



#### イ 事実等を解釈し説明するとともに、自分の考えを持つこと、さらに互いの考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること

##### ◆【地理歴史】

日本史A：「現代からの探究～身の回りの生活道具を通して見た近現代の人々の生活の変化～」

資料を活用して調べた成果を互いに発表し探究する言語活動を取り入れます。

まず、生活に関わる道具について、「情報」「通信」「家事労働」などの題材を選び、生徒個人で調べ学習を行います。国内外の主な出来事、価値観や生活意識の変化についても考え、統一の枠組みの年表に記入します。次に同じ題材のグループごとに意見交換を行い、自分の作成した年表に新たに気が付いたことを、筆記具の色を変えて記入していきます。最後に考えたことを文章で記述します。

この活動を通して、「思考・判断・表現」の能力を育成し、「資料活用の技能」、「知識・理解」の習得を図ります。



「平成23年度研究〈高等学校〉言語活動の充実を図る実践事例集」

●主体的に取り組む態度が見られるようになりました！

生徒が  
変わりました！

「ほかの生徒に説明するので、やる気になる！」  
「強く印象に残るし、楽しんで学べる！」  
「話し合いをすることでしっかり考えることができた！」



文部科学省HPにある多数の教科別指導事例をチェックしましょう！

「言語活動の充実に関する指導事例集

～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【高等学校版】

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/gengo/1322283.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1322283.htm)



## (2) コミュニケーションや感性・情緒に関すること

### ア 互いの存在についての理解を深め、尊重すること

#### ◆【家庭】

**家庭基礎：「子どもの発達と保育―（親の立場になって）子どもとの関わりを考える」**

子どもや親の立場を理解するために、**ロールプレイ**の言語活動を取り入れます。

例えば、「子どものわがママ」という具体的な場面を取り上げ、A：わがママを言う子ども、B：子どものわがママを肯定的に受け入れる人、C：子どものわがママを認めずに怒る人、の三者を想定し、それぞれの立場になって、ロールプレイを行います。子どもへの親や家族・社会の果たす役割について考え、**演じたり、観察したりして、気付いたことを話し合います。**そうすることで、**他者の意見を共有し、互いの考えを深める等の協働的な関係を築くことができます。**

この活動を通して、「思考・判断・表現」の能力を育成します。



### イ 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を互いに伝え合ったりすること

#### ◆【芸術】

**美術Ⅰ：「日本の美術の伝統と創造」**

日本の美術の歴史や表現の特質への理解を深めるために、教師が知識を教える学習ではなく、**生徒自身が感じたことを言語化**し、美しさの要素を明確にする言語活動を取り入れます。

最初は個人の活動として絵巻、障屏画、浮世絵のいずれかの作品を鑑賞し、作品の特質などを調べます。その後、**同じ時代の作品を調べた生徒でグループを作って発表し合い**、作品の相違点や共通点について話し合います。また、自分一人では気付かなかったことに気づき、他者との意見の交流を通して、**新しい見方や感じ方、考え方などを深めることができます。**最後に**グループで話し合ったことを発表し**、個人でワークシートにまとめます。

この活動を通して、「鑑賞の能力」の習得を図ります。



神奈川県立総合教育センター p.43 生徒の変容より



●ほかの生徒の考えを知ることにより、前向きになりました！

「新たな考え方、視点を発見できた！」

「いろいろなグループで調べたポイントが異なり驚いた！」

「改善点を指摘してくれる！」